

専修大学少年少女レスリング教室 TEAM BISON'S

保護者のためのレスリングセミナーを開催



専修大学少年少女レスリング教室(Team Bisons)の観点から、今回の企画「ONS」スポーツ研究所を開催した。

主催「4面に連続記事」は、6月29日に「保護者のためのレスリングセミナー」を生田キャンパスで開催した。写真。

選手への保護者(約40人)を対象に、レスリング教室の指導方針やジュニア期のトレーニングに対する考え方を交えた講義と、実際にレスリング道場でレスリングを体験する実技を行った。

講師を担当した木村元彦(ヘッドコーチ(キャリアデザインセンター事務課職員))は、「ゴールデンエージ期の必要トレーニングや、ジュニアレスリングの試合における反則・禁止技や得点の説明など実技を交えて紹介し、子どもだけでなく保護者もレスリングを深く知ることで、子どもの成長をサポートしたい」との観点から、今回の企画を開催した。

セミナーに参加した保護者からは、「実際にレスリングを体験することで、レスリングの楽しさや厳しさを知ることができ、子どもの練習や試合へのサポートを行っていただく上でとても役に立った」との意見が寄せられた。

レスリングというスポーツを通じた地域への社会貢献は、今後の大学のあり方を考える上で重要な意味を持つ。

同教室は、本学レスリング部卒業生が地域の幼児から高校生までを指導しようと作られた公開講座。これまでジュニアレスラーの体力測定やスポーツ科学講座も併せて開催してきた。

(相澤勝治文学部准教授)



7月6日、神田・生田両キャンパス周辺で「Clean Town 2013」が実施された。炎天下の中、そろいのTシャツを身にまとった学生と近隣住民が一丸となり、清掃活動を行った。

【神田キャンパス】

2010年に始まり、今年で4回目を迎えた「Clean Town 2013 in Kanda」。学生部傘下団体SKV (Senshu Kanda Volunteer)を中心に、学生、教職員、卒業生が参加。また、神田警察署、北神町会、神三町会、千代田区神保町出張所も協力し、合わせて約170人が活動に取り組んだ。参加者たちは神保町、九段下、水道橋の3方面に分かれて活動。大通りから路地を回り、それぞれの担当地区で、熱心にごみを拾った。

Clean Town 近隣住民と清掃活動

【生田キャンパス】

この企画は、体育会地域貢献活動「ONE DAY TEAMMATE 2013」の一事業として行われているもので、体育会本部が主催する「小さな親切運動」と連動。体育会各部の部員をはじめとした学生、教職員に加え、多摩区役所、NPO法人多摩川エコミュージアムのメンバーら約450人が参加した。

学生が利用している小田急線向ヶ丘遊園駅、JR南武線中野島駅・登戸駅・宿河原駅の各駅周辺と多摩川河川敷の美化に努めた。



▲ ひらやすさんの伴奏で学生は「夏の思い出」を合唱

HEIB 講座

講師にソプラノ歌手 ひらやすかつこさん 歌の世界から学ぶ

ビジネス社会で活躍するための実務を学ぶ女子学生限定のHEIB(ヒープ)講座の第7回講義が7月9日、生田キャンパスで開かれた。講師にソプラノ歌手のひらやすかつこさん(二期会)を迎え、約30人の出席者は自己管理とためめ努力に裏打ちされた美声にふれた。

ひらやすさんは『歌』は世界の共通語、音楽による表現法とコミュニケーションと題して講演。オペラの役柄を上げようと勉強した結果、メゾソプラノからソプラノの音域まで声が出るようになったことや、健康維持のため毎朝6時のジョギングを30年間続けていることを明かし、「願望する前に行動することが大事」と語った。

続いて、ひらやすさんの国内外でのリサイタルやチャリティーコンサートの模様をまとめたDVDを視聴。クラシックから童謡、ポピュラーまで幅広いジャンルの歌を披露するステージを紹介しながら、「音楽家の仕事は依頼主によって曲目も演奏者もアレンジも毎回違う。ニーズに的確に

対応することで共感を得られる点は、皆さんも同様では」とこれから社会にはばたく学生に語りかけた。

今回は歌唱指導を行うため、ピアノのあるグリーントップが講義会場となった。発声練習し全員で『夏の思い出』を歌うと、久々におなかから声を出した学生たちは晴れやかな表情に。「発声練習や歌を生活に取り入れると大きな声であいさつができ、血流が良くなってアイデアがひらめく」というひらやすさんの言葉にうなずいていた。



▲ 実行委員のメンバー(前列右から2人目が樋口委員長) 樋口遊士実行委員長(経営4)は「参加者の皆さんが積極的に取り組み、盛り上げてくれた。どの試合もレベルが高く、見たたえのある大会となった」と振り返った。

川島杯争奪野球「Lines」Aが優勝 40チームが参加した「第47回川島正次郎杯争奪野球大会(連合県人会主催)の決勝戦が7月4日、川崎市高津区の宇奈根第一球場で行われた。同一サークルによる決勝戦となり、激戦の末、「Lines」Aチームが優勝を果たした。



47回黒門祭 学術文化会に所属するサークルが日ごろの研究や練習の成果を披露する「第47回黒門祭」(黒門祭実行委員会主催)が6月28日から30日まで、生田キャンパスで開催され、8団体が出演したMusic Festival(4号館前ステージ)を皮切りに、サークル対抗サッカー大会(北グラウンド)などの企画が実施された。研究会や同好会らが研究発表や制作展示などを行った。